

令和7年度糀谷中学校授業力向上推進研修について

今年度は、授業力向上の校内研究のテーマを「一人一人の生徒が主体的に学習に取り組むための授業の工夫～ユニバーサルデザイン授業を通して～」とし、誰もがわかる授業、意欲的に取り組める授業をめざして、教員の授業力・実践力の向上及び生徒の学力向上につなげる授業について各教科で研究を進めた。

年間を通して、講師としてお招きした『大田区 発達障がい支援アドバイザー』である南 俊彦先生からご指導を仰ぎ、協議を深める中で、授業づくりや支援する生徒の具体的な方策を追究しました。

7月 【学校におけるユニバーサルデザインについて】

発達障害の特徴やそれらが重なり合って表面化する具体的な特性を学びました。さらに、識字障害の方が実技中心の自衛隊で活躍されていたり、こだわりの強さを生かして本の整理や牛の管理の仕事に就いていたりする実例をお聞きました。また、本校の生徒の対応についての質問についても細かく答えていただきました。



9月 【ユニバーサルデザインに基づく授業の在り方について】

ユニバーサルデザインの視点を生かした授業改善や、そのメリットについて学びました。全ての子どもたちが参加できる、分かりやすい授業に加え、パターン化された手順やクラスの雰囲気など物理的環境と人的環境に配慮した工夫が必要だと分かりました。また、生徒の特性に応じてできる板書や指示の仕方など具体的な支援についても理解を深めることができました。



12月 研究授業

【授業改善の視点】

- ①一人一人の生徒が主体的に学習に取り組むための授業の工夫
～ユニバーサルデザイン授業を通して～
- ②タブレットの効果的な授業活用



また、「タブレットの効果的な授業活用」にも焦点を当てた研修も取り入れ、学習理解を深め、協働的な学習に繋がる「ICTの活用」の研修や、個に応じた指導に役立てるための「操作技術研修」を行い、ICTの授業活用研修にも務めました。